

マスコミ関係各位

2017年8月21日

明治学院大学の学生が学習アシスタントとして協力
「外国につながる小中学生のための夏休み集中学習支援教室」
 本学の『内なる国際化』に対応した人材の育成プロジェクトが連携

難民など外国にルーツをもつ子どもたちを対象にした夏休みの集中学習支援教室(社会福祉法人さぼうと21主催)が明治学院大学白金キャンパスで実施されています。この取り組みには、本学教養教育センターと社会学部が共同で進める『内なる国際化』に対応した人材の育成プロジェクトが連携し、大学生が学習アシスタントとして活動します。

この学習支援教室は、子どもたちの日本語能力・学力を向上させ、将来的に進学・就職の選択肢をひろげることを目的として実施されています。講師による日本語や主要教科の授業と、「ボランティア実践指導」の授業を履修している社会学部の本学学生がアシスタントとなり、個別フォローをしながら出身文化圏も日本語能力もさまざまな子どもたちが朝～夕方まで学習します。昨年度にも実施し、多くの子どもたちと学生が学びを通して交流しました。

大学キャンパスで実施されるこの教室は、子どもたちにとっては進路を意識するきっかけとなり、新しい仲間との出会い、ともに学ぶ特別な居場所にもなっています。そして、大学生たちは日本における国際化の現状や課題を知り、支援について考えるとともに、困難を乗り越えながら学ぶ子どもたちの姿に大きな刺激を受けています。

ぜひ、この取り組みについて、取材・掲載を検討いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

外国につながる小中学生のための夏休み集中学習支援教室 開催概要

■日 時: 2017年7月31日～8月9日・17日～29日

平日限定・10:00～17:00

(※学外開催の日あり。取材をご希望の方は事前にご連絡ください。)

■場 所: 明治学院大学 白金キャンパス

(〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37)

■内 容: 小学校6年生および中学1～3年生の学習支援

■主 催: 社会福祉法人さぼうと21 <http://support21.or.jp/>

■共 催: 明治学院大学教養教育センター・社会学部

『内なる国際化』に対応した人材の育成プロジェクト

※この支援教室は、一般財団法人柳井正財団から助成金を受けています。

■教養教育センター・社会学部『内なる国際化』に対応した人材の育成プロジェクトについて

現在の日本国内には外国につながる人たちが多数生活しています。この「内なる国際化」に対応し、従来の文化・宗教・民族といった枠組みを超える新たな価値観を理解できる学生を育成することを目的として、教養教育センターと社会学部が共同で展開する教育プロジェクトです。教室での学びと、支援実践参加の学びなどを通じて、外国につながる人たちを包摂した共生社会の担い手として、国境を越えた移動とそれに付随する人権問題に対して鋭い感性と洞察力をもった学生を育成していきます。 <http://internal-i18n-meijigakuin.org/>



取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 濱口・圓道

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>